

学んで実践！
心のバリアフリー

バリアフリー教室について

～何かお手伝いしましょうか～

近畿運輸局 交通政策部
共生社会推進課



～はじめに～



公共交通利用促進キャラクター
のりたろう

◎バリアフリー教室って何のためにやるの？

道路や駅など、全てをすぐ100%バリアフリー化できればいいけれど現実的には難しい・・・。

でも、高齢者や障害者が困っている時に、近くにいる人がほんの少しお手伝いすれば、「バリア」が解消することもあります。

バリアフリー教室は、多くの人に「心のバリアフリー」を広く知ってもらうための啓発活動であり、疑似体験や学習を通じて、「心のバリアフリー」を身につけてもらうための取組です。

【補足】心のバリアフリーとは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと（「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」より）

体現ポイント！

- 障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「**障害の社会モデル**」を理解すること。
- 障害のある人（及びその家族）への**差別（不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供）を行わない**よう徹底すること。
- 自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し**共感する力を培う**こと。

（「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」より）

心のバリアフリーは、単なる思いやりや配慮にとどまらず、より深い多様な人々への理解や様々な困難を抱えている人への具体的な支援の行動も含みます。

1. バリアフリー教室の目標・ねらい・効果

【目標】

高齢者や障害者の疑似体験や介助体験等を通して、「心のバリアフリー」や「障害の社会モデル」等についての理解を深め、困っている人に「お手伝いしましょうか」と自然に快く声をかけてサポートできるようになること

【ねらい】 ※心のバリアフリーを身につける！

- ・ 社会には多様な人がいることを理解する。
 - ・ 障害者等の心身機能や行動特性等を理解し、不便さや困りごとを知る。
 - ・ 障害は、個人だけの問題ではなく、社会全体の問題であり、社会の中にあるバリアをみんなで取り除いていかなければいけないということを理解する。
 - 一人ひとりの行動等で解消できるバリアがあることを理解する。
 - ・ 接遇・介助・支援等の方法を学ぶ。
 - 実際に体験することで、コミュニケーションの大切さ等を体感・理解する。
- ⇒ これらを理解した上で、バリア解消に向け、それぞれができることを実践する 等

【効果】

- ・ バリアを他人事ではなく、自分事として捉える。
- ・ バリアを感じている人のために自分は何ができるかを考え、コミュニケーションをとり、バリアを取り除くことを実践する。
 - … 街中で困っている方を見かけたら「お手伝いしましょうか」と声をかける。
- ・ 体験や学習したことを身近な人に話すことで、バリアフリーの普及に繋がる。 等

近畿運輸局では、幼稚園、小学校、中学校、イベントのブース出店等で、バリアフリー教室を行っています！

〈バリアフリー教室を実施した学校の先生からのコメント紹介〉

教室でただ聞くだけの学習ではなく、実際に体験することができて、相手の気持ちを考えたり、接し方を学んだりすることができて良かった。

日々の生活の中では気付かず過ごしていることに気付かせてくれる貴重な体験となった。

子ども達の今後の成長に大きく役立つ経験となった。



生徒一人ひとりの変容を見取ることができ、新しい一面の発見をすることもできた。

また学習に関わった教員の変化も同様にあり、学校全体に影響のある学習活動になった。

とても良い経験だったので、来年の先生にも引き継ぎます。

先生方もバリアフリー教室を体験してみませんか？

たとえば、学校内や地域毎、複数校合同で行う先生方の研修の一環として等、先生方を対象としたバリアフリー教室も実施可能です！

先生方に実際のバリアフリー教室を体験していただき、「総合的な学習の時間」や福祉に関する教育の授業等で、先生から生徒へ「心のバリアフリー」を伝えていただければ幸いです。

2. バリアフリー教室の内容

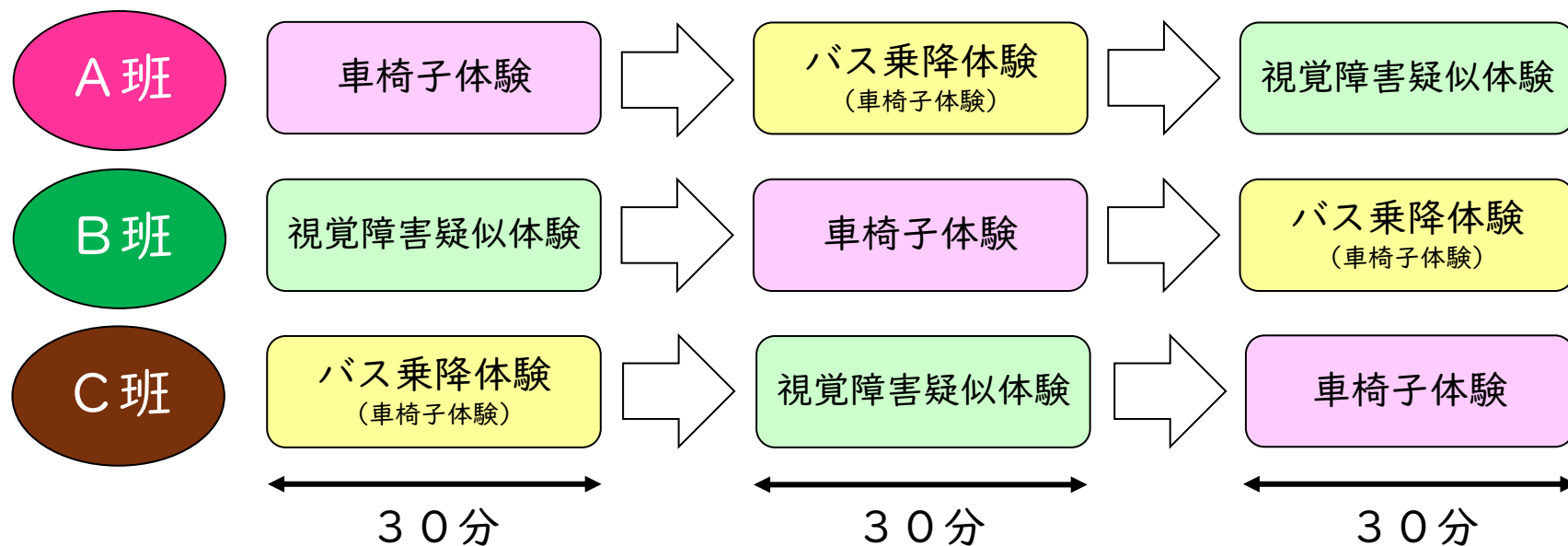
- (例) ・心のバリアフリーに関する講話
- ・障害当事者との座談会
 - ・視覚障害の疑似体験、介助体験
(アイマスク、白杖使用)
 - ・車椅子介助体験、自走体験

体験学習で
記憶に残る経験を！



●メニュー例（30人×3クラスの場合）

体験時間はそれぞれ30分、全体で2時限程度



体育館 体験コース配置図（イメージ）

【車椅子体験コース】

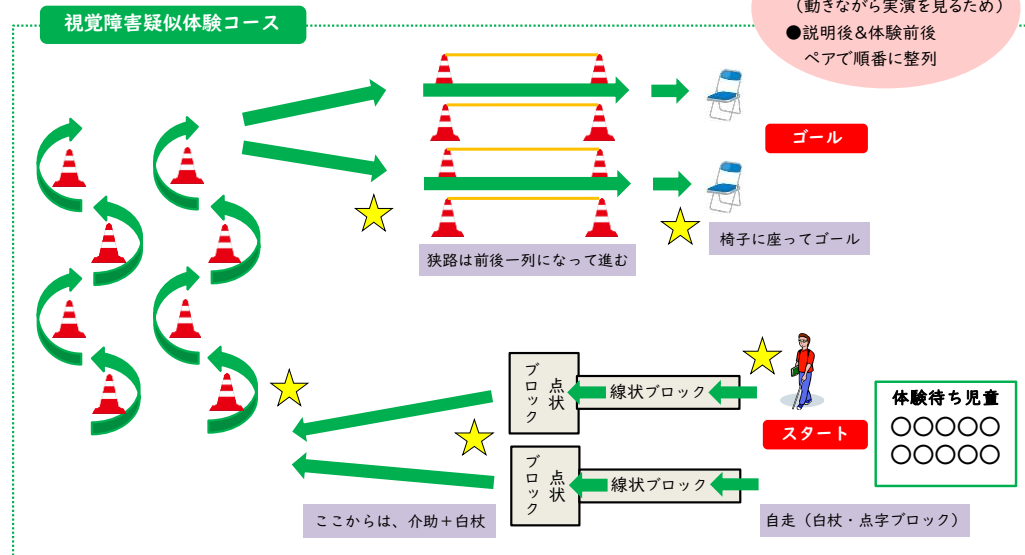
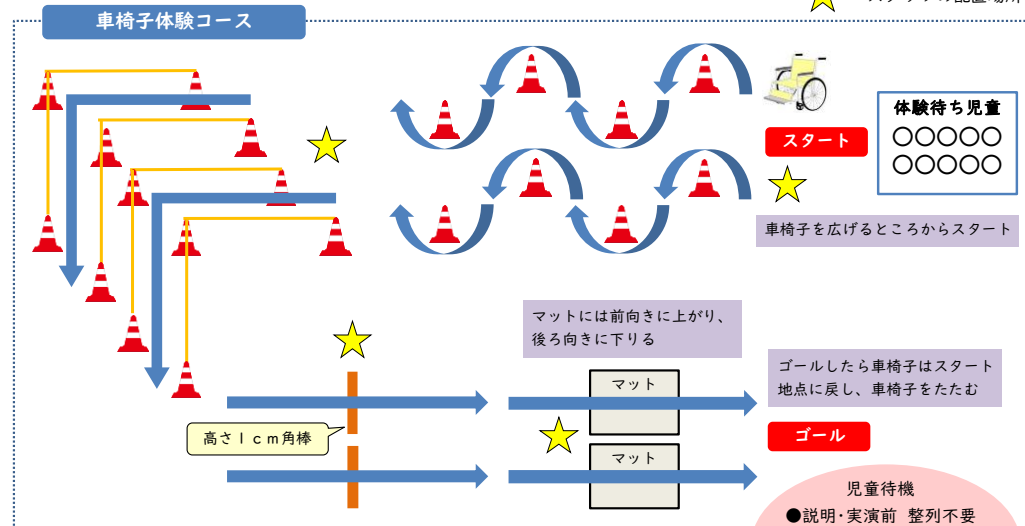
スタート → ①ジグザグ → ②直角狭路 → ③段差衝撃体験（棒）→ ④段差介助体験（マット）→ ゴール

【視覚障害疑似体験コース】

スタート → ①点字ブロック（自走）→ ②ジグザグ（介助）→ ③狭路（介助）→ ④椅子に座ってゴール

※両体験とも2人1組で行う。1回コースを回ったら、2回目は当事者役と介助役を交代する。

★ …スタッフの配置場所



●メニュー例

体育館全体を半分に分け、
「視覚障害疑似体験コース」
「車椅子体験コース」
を用意。

資材例

- ・コーン
- ・マット
- ・長机
- ・平均台 など、

学校にある資材でコースは作れます。

●その他メニュー例

▼ 視覚障害

- ・ コミュニケーション体験
(言葉だけで絵を説明し、絵を見ていない人が再現してみよう)
- ・ ロービジョンメガネで見てみよう
- ・ アイマスクをつけてお金を支払ってみよう

【視覚】コミュニケーション体験



▼ 聴覚障害

- ・ イヤーマフをつけて自己紹介してみよう
(身振り手振り、筆談、口話等)

【高齢】お買い物体験

- ・ 眼鏡 (白内障＋視野狭窄体験用)
- ・ 肘が曲がりにくいサポーター(利き手)
- ・ 耳栓
- ・ 軍手 を装着

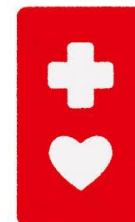


▼ 高齢者・肢体不自由

- ・ 高齢者疑似体験セットをつけて歩いてみよう

▼ その他の障害

- ・ 内部障害、知的・精神・発達障害について知ろう
(ヘルプマークの紹介等)
- ・ バリアフリークイズ



●タイムスケジュール例

【イメージ】〇〇市立〇〇小学校バリアフリー教室スケジュール

開催日時：令和〇年〇月〇日（〇） 10:25～12:20

対象者：小学〇年生3クラス（〇名）

【座学】3クラス合同（於：体育館）		
時間	内 容	備 考
10:25 (15分)	挨拶、スタッフ紹介 講義	心のバリアフリーについて「お手伝いしましょうか」 (講義終了後、クラスごとにそれぞれの体験へ移動)

【バリアフリー教室イメージ写真】



【体験学習】車椅子、視覚障害疑似体験（於：体育館）、ノンステップバス乗降体験・見学（於：屋外）						
時間	1組（〇名）		2組（〇名）		3組（〇名）	
	内 容	備考	内 容	備考	内 容	備考
10:40 (30分)	バス乗降体験・見学	【バス会社】バスのバリアフリーの工夫の説明 車椅子乗降・固定実演 【児 童】車椅子乗降体験・見学 (終了後、視覚障害疑似体験へ移動)	車椅子体験	車椅子使用の注意事項、体験手順等の説明&実演 (終了後、バスへ移動)	視覚障害疑似体験	白杖・点字ブロックの役割、声かけの方法、体験手順の説明&実演 (終了後、車椅子体験へ移動)
11:10 (30分)	視覚障害疑似体験	白杖・点字ブロックの役割、声かけの方法、体験手順の説明&実演 (終了後、車椅子体験へ移動)	バス乗降体験・見学	【バス会社】バスのバリアフリーの工夫の説明 車椅子乗降・固定実演 【児 童】車椅子乗降体験・見学 (終了後、視覚障害疑似体験へ移動)	車椅子体験	車椅子使用の注意事項、体験手順等の説明&実演 (終了後、バスへ移動)
11:40 (30分)	車椅子体験	車椅子使用の注意事項、体験手順等の説明&実演 (終了後、最初の講義位置へ移動)	視覚障害疑似体験	白杖・点字ブロックの役割、声かけの方法、体験手順の説明&実演 (終了後、最初の講義位置へ移動)	バス乗降体験・見学	【バス会社】バスのバリアフリーの工夫の説明 車椅子乗降・固定実演 【児 童】車椅子乗降体験・見学 (終了後、最初の講義位置へ移動)
12:10 (10分)	全体集合して、まとめ					
12:20	終了					

3. バリアフリー教室 実施の様子

講義



車椅子体験（段差介助体験）



視覚障害疑似体験



バス体験（車椅子での乗降体験）



4. 学校へのお願い

バリアフリー教室
実施無料！

●依頼時期

- ・実施希望日の**2～3ヶ月前まで**にご相談ください
- ・複数の実施希望日時をご提示ください（2学期に実施希望が集中する傾向あり）

●準備

- ・車椅子体験をする場合、学校で車椅子の手配（運搬を含む）をお願いします
- ※必要台数が学校にない場合は、社会福祉協議会等から借りることができます
- ※できる限り学校や当局にあるものを使用して行いますが、車椅子以外にも足りない物がある場合は、物品の手配をお願いすることがあります

●バリアフリー教室当日

- ・準備と後片付けにご協力ください
 - ・体験補助や生徒誘導等にご協力をお願いします
- 〔目安〕30人×3クラスなら先生5名以上（体験内容による）
- ・バリアフリー教室終了後の当局荷物の返送は、学校で返送手配と送料の負担にご協力いただけると幸いです

当局主催で行うバリアフリー教室をきっかけに、学校独自でバリアフリー教室を実施していただけることを目指しています！

【参考】心のバリアフリー関連資料・教材

〈国土交通省HP〉

- ・教育啓発特定事業の実施に関するガイドライン



https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_fr_000051.html

- ・心のバリアフリー等に関するパンフレット・リーフレット

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000011.html



〈近畿運輸局HP〉

- ・心のバリアフリー教室開催例

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000346151.pdf>



〈文部科学省HP〉

- ・心のバリアフリーに関する教育

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1394142.htm



〈内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局HP〉

- ・心のバリアフリーについて

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/program.html





公共交通利用促進キャラクター のりたろう

各種シナリオや様式等の
提供もいたします。
お気軽にご相談ください。

近畿運輸局 交通政策部 共生社会推進課
電 話 番 号：06-6949-6431
メールアドレス：kkt-barrier-free@ki.mlit.go.jp